

お米の生産者の皆さまへ

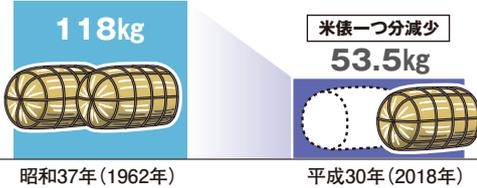
このままでは令和3年産米価格は 大幅に下落します!

主食用米の需給動向

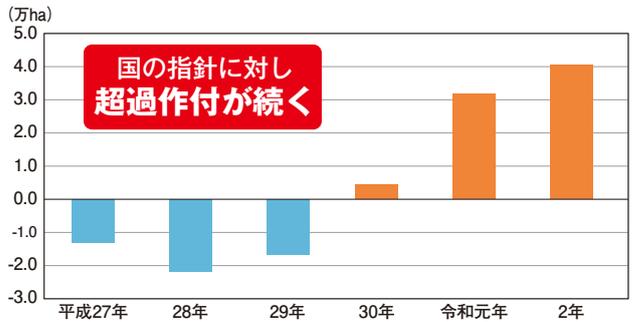
▼ 主な理由は次の通りです。

1 需要は年々減少しています

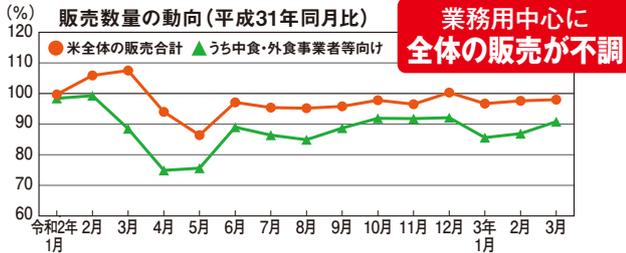
国民1人・
1年あたりの
米の消費量



2 作付面積は減少していません



3 新型コロナウイルスの影響

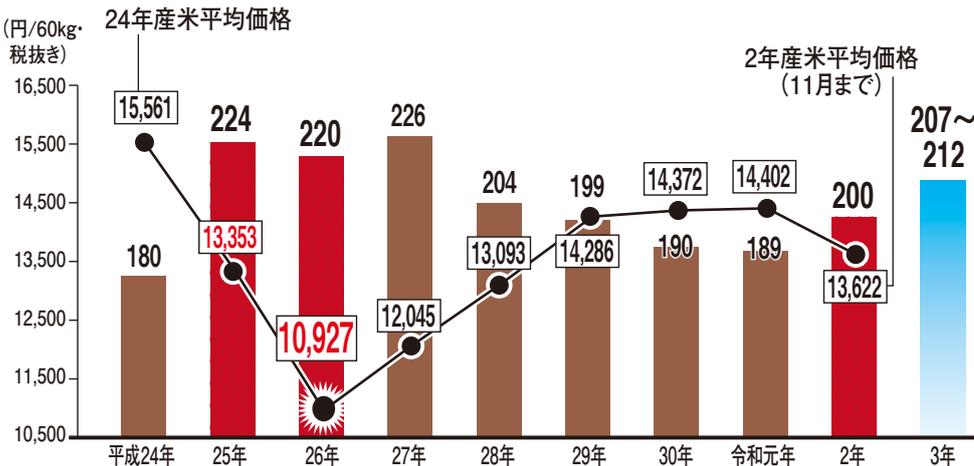


では、どのくらい米価が
下がってしまうの?



主食用米の需給と価格の関係

価格は需給で決まります! → 米価は、6月末在庫量と関連しています。



過去に同水準の在庫量となった
25、26年産では、それぞれ前年
から60kgあたり2,000円以上も
下落し、26年産では多くの産地
銘柄で60kgあたり1万円を下回
りました!

※価格は農水省公表の相対取引価格より、税・包装代
控除。令和2年産米は令和3年3月までの平均価格

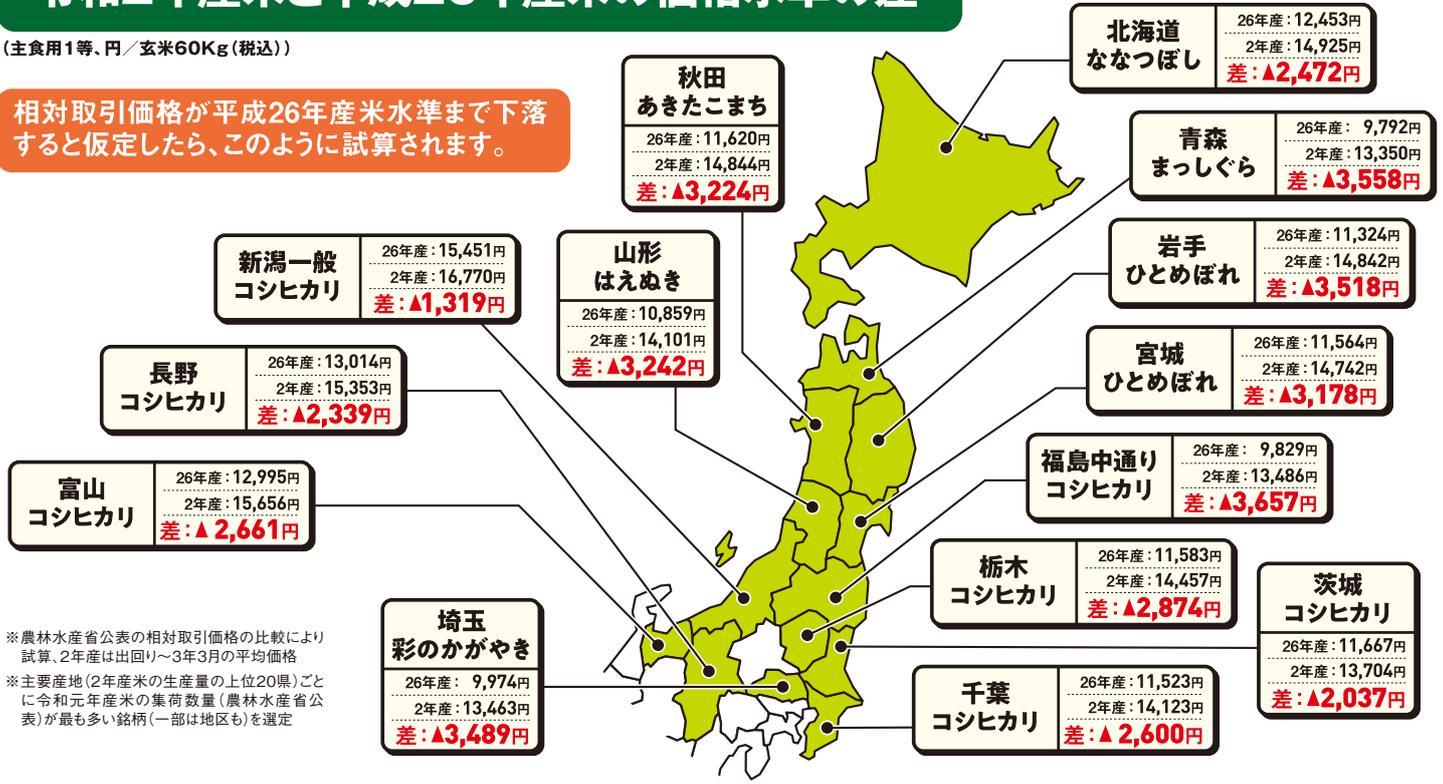
大変!
どうすれば
いいの?



令和2年産米と平成26年産米の価格水準の差

(主食用1等、円/玄米60Kg(税込))

相対取引価格が平成26年産米水準まで下落すると仮定したら、このように試算されます。



※農林水産省公表の相対取引価格の比較により試算、2年産は出回り～3年3月の平均価格
 ※主要産地(2年産米の生産量の上位20県)ごとに令和元年産米の集荷数量(農林水産省公表)が最も多い銘柄(一部は地区も)を選定

飼料用米等へ作付転換し、ナラシ対策等へ加入しましょう!



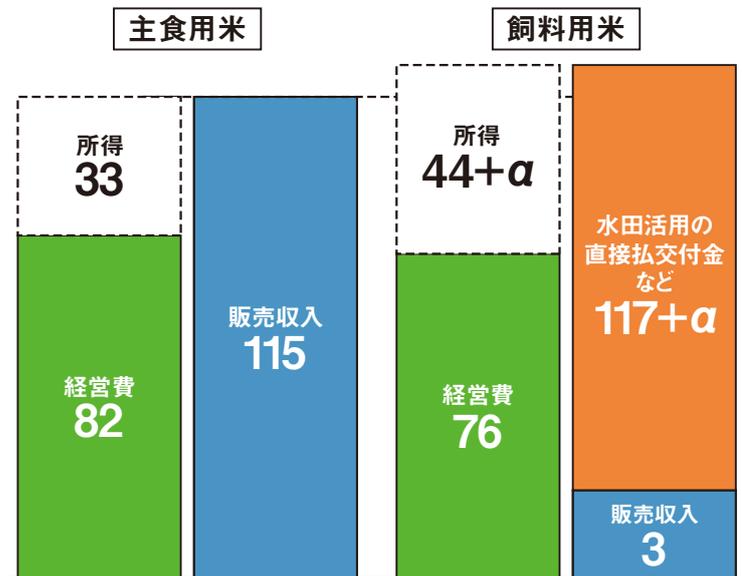
主食用米以外への転換や、経営安定策への加入が必要だね!

3年産の作付動向や作柄、消費動向によっては、もっと厳しい状況になる可能性もあるぞ!



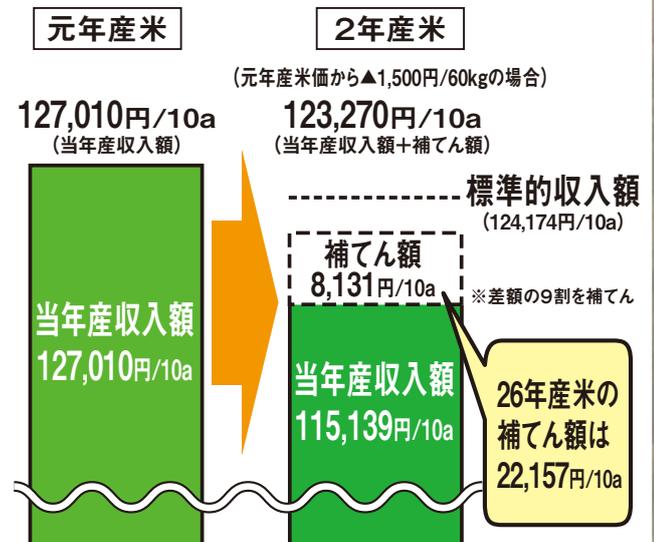
主食用米・飼料用米の所得イメージ (令和3年度)

(単位:千円/10a)



※飼料用米は、多収品種を用いて、単収が標準単収値+150kg/10aとなる場合
 ※主食用米の経営費は、平成30年度の農産物生産費統計の全国平均
 ※飼料用米の経営費は、主食用米の経営費から農機具費・自動車費の償却費を控除

ナラシ対策による補てん額試算 (2年産、全国平均)



※1 令和元年産米価格は、出回りから令和2年8月までの全国の全銘柄平均価格(包装代、消費税含む)
 ※2 令和2年産収入額は、令和2年産水稲の10a当たり収量(12月9日公表)に令和2年産の米価(包装代、消費税含まず)(仮定)を乗じて算出したもの
 ※3 実際の補てん額は、麦や大豆などの他のナラシ対象作物ごとの収入差額を合算相殺して算定
 ※4 農林水産省資料を基に一部変更